

平成29年度小田原文学館特集展示(第3期)

白秋と 童謡、 赤い鳥

来年、日本の子ども達の文学は100年をむかえます—



白秋と隆太郎 (大正13年2月9日 木兎の家の近くで)



「赤い鳥」創刊号表紙(大正7年6月)

2017年

9月2日[土]~2018年7月頃

9:00~17:00 (最終入館16:30) 会期中無休

小田原文学館 2階第3展示室内

主催 小田原市立図書館 Tel.0465-24-1055

小田原文学館

〒250-0013 神奈川県小田原市南町 2-3-4

白秋と童謡、「赤い鳥」



5

大正期に開花した日本初の児童文芸誌「赤い鳥」は、子ども向けの読物がなかった時代にあって、子どもたちの童心によりそった優れた物語や童謡を届けることを目指した児童文化運動でした。

この運動に賛同した芥川龍之介は「蜘蛛の糸」、有島武郎は「一房の葡萄」、西條八十は「かなりや」などを発表し、「赤い鳥」は今日でもなじみ深い名作の数々を生み出しました。

当時小田原に住んでいた文学者北原白秋もまた、この運動に賛同し、《りすりす子栗鼠》や《赤い鳥小鳥》《あわて床屋》など、今日でも口ずさまれている童謡の名作を「赤い鳥」に発表しました。

「赤い鳥」100周年を来年に控え、小田原文学館では「赤い鳥」をキーワードとして白秋の童謡をめぐる主要な作品を館蔵資料のなかから紹介します。



1

展示構成

第1章は白秋の人と業績、第2章は童謡関連の活動と作品を紹介します

第1章 人と業績

第1節 白秋について

第2節 小田原時代の暮らしと交流

第2章 「赤い鳥」と白秋童謡の展開

第1節 創作童謡と「赤い鳥」

第2節 『まざあ・ぐらす』と伝承童謡の紹介



2



3



4

写真一覧

- 1 《白秋肖像写真》
- 2 《木兎の家の前で》
- 3 北原白秋《あわて床屋》「赤い鳥」大正8年4月
- 4 北原白秋翻訳『まざあ・ぐらす』アルス、大正10年
- 5 《赤い鳥小鳥の碑》（小田原文学館内）

次回展示のお知らせ

特別展「生誕110年記念北原武夫展」を下記日程で開催します。



北原武夫

開催場所 小田原文学館 本館1階（第1・第2展示室）
 会期 平成29年10月14日（土）-12月3日（日）
 開館時間 9時から17時まで（入館は16時30分まで）

※ 会期中休館日はありません

旧田中光顕別邸・国登録有形文化財

小田原文学館

〒250-0013 神奈川県小田原市南町 2-3-4
TEL 0465-22-9881

<http://www.city.odawara.kanagawa.jp/public-i/facilities/literature-museum/bungakukan.html>

問合せ 小田原市立図書館 TEL 0465-24-1055



入館料 大人250円、小中学生100円
(団体/障害者手帳をお持ちの方割引有)

※白秋童謡館は平成29年9月 - 平成30年7月頃まで改装工事のため休館します

アクセス・小田原駅東口から徒歩20分

- ・小田原駅東口から箱根方面行バス H/T/J/Z/U線「箱根口」下車徒歩5分
- ・車で国道1号線「箱根口交差点」から路地に入り220m右折後直進100m